

目標達成計画

作成日: 平成 25年 12月 4日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	I、1 (1)	職員は、理念を根本に日々のケアに取り組んでいる。しかし、入居者、家族、来訪者には施設の理念がわかるようになっていない。	職員間で理念を確認してだけでなく、入居者、家族、来訪者にも施設の理念がわかるようにしていく。	入居者、家族、来訪者にも施設の理念がわかる場所に掲示していく。	6ヶ月
2	I、4 (3)	家族全世帯に会議の案内や会議録を出すなど多くの家族が参加し、意見や要望が運営に反映できるようになっていない。	施設での会議内容が家族全世帯にわかるようにしていき、意見や要望を運営に反映したい。	運営推進会議の内容を家族全世帯に郵送していく。	6ヶ月
3	I、10 (6)	入居者にとって事業所は新たな家であり、家族の協力や意見の反映は必要と考える。事業所独自のホーム便りの発行や、意見箱の設置等、多くの意見や意向を聞き出すような取り組みがない。	家族の協力や意見を反映していきたい。	ホームでの様子をご家族様にもわかるようにお便りを郵送していく。面会時には、必ず職員から声掛けして、多くの意見や意向を聞き出すような取り組みをしていく。	6ヶ月
4	III、3 5 (13)	現状の防災対策や訓練状況などについて消防署の指導を仰ぎ、より安全な避難訓練が出来るような協力体制づくりを向上する必要がある。	防災訓練の時は消防署に協力してもらう体制をつくっていく。	年2回の防災訓練を行う中で、消防署に呼びかけて協力してもらい直接アドバイス頂く。	6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。